

その他の廃棄物処理業における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	6～7	客先ゴミ置き場において、廃棄物の回収を行っていたところ、廃棄物積み込み時に腰に激しい痛みを覚え、立てない状態になった。なお、以前より腰痛はあった。	25	100 ～ 299
3	3～4	燃えるゴミ収集作業中、被災者は、ゴミ置場より両手にひと袋ずるゴミ袋（約20kg）を持ち、パッカー車の投入口に右から左へ上体を捻りながら投入したところ、腰に激痛が走り腰部を負傷した。	33	50 ～ 99
4	11～12	事業所1Fの紙の破砕処理室において、段ボールに入った書類を取り出し、鉄製容器に入れる作業中、中身の入った段ボール箱（50×60×H20金具の取手付き）が8段に積まれている状態の最上段（パレット込みの高さ170～180cm）の箱を取る為に左手をのばし、金具の取手に指をかけて引っばったところ、指がかかった状態で箱が落下し、重さに耐えかねて負傷した。痛みはあったがすぐ治ると思い、しばらく出勤したが治らず、後日に骨折が判明した。（段ボール重量10kg～15kg程）	47	10 ～ 29
4	10～11	ダンボールの回収作業中にダンボールで足が滑った為、右手より転倒し、重量のあるダンボールを持っていたため足元が滑り転倒した。	55	10 ～ 29
5	16～17	弊社作業場で廃棄物の分別をしている時、重たい廃棄物を4つくらい持ち上げたところ、肩が痛くなった。その日は何ともなかったが、翌日に右肩がうっ血していた。	55	10 ～ 29
5	10～11	ゴミを収集していたところ、重いゴミを持ち上げた時に、急に腰が痛くなり、我慢して収集していたら、痛みがひどくなってしまった。	46	10 ～

				29
5	10～ 11	廃棄物の回収現場で廃棄物を車輻に積み込む作業中、廃棄物の入った45?のビニール袋を両手で持ち上げなければならないところ、片手で持ち上げた時に右手親指を負傷した。	26	10 ～ 29
6	9～ 10	ごみ集積場所において収集作業中、掴んだごみ袋に割れたガラスが入っており、手袋ごと指を切り負傷した。	56	50 ～ 99
6	11～ 12	住宅地路上にて、可燃ごみ回収作業中、ごみを収集車に積み込む際に、ごみが重く右肩を捻った。	31	—
6	10～ 11	一般家庭ごみ収集中、ごみ袋を持ち作業車に搬入する為、左側に足を捻った時、左足膝裏に痛みがはしった。その後、激痛になって作業が出来なくなった。	57	30 ～ 49
7	16～17	回収物を荷おろしの作業中、トラックの荷台後部より際下にあった空き缶の入った袋の上に誤って降りてしまい右足をひねってしまった。その時に右ひざの靭帯を損傷した。当日は痛まなかったが、翌日痛みがひどくなった。	49	100 ～ 299
9	11～ 12	可燃ごみステーションにおいて、可燃ごみを収集車に積み込むため、両足を踏ん張り、屈んだ状態で両手でごみ袋を持ちあげた時に、腰に電気がはしったように感じた、大丈夫だろうと思い、積み込み作業を継続したが、最後のごみ袋（2～3個）をつかみ、投入口へいれようと体をひねったところ、「ビリッビリッ」と激痛がはしり動けなくなったため、病院へ行ったものである。	23	100 ～ 299
10	10～ 11	作業場内でカレット（瓶）の選別作業をしているときに、瓶の入ったカゴを両手で持ち上げて、体の向きを変えようとしたところ、左膝がグキッと鳴った。痛みはあったものの、その後数日間作業をしていたが、痛みが増し受診する。	70	—
10	11～ 12	集積場所にて収集作業を行っていた。その集積場所では、普段からごみがポリバケツ（60?）に入っている状態であったため、収集する際にはポリバケツごと持って、収集車へ運んでいた。この日も同じようにポリバケツごと持って運ぼうとしたところ、ポリバケツの中に水が溜まっていたため（ごみに隠れて視認しづらかっ	36	50 ～ 99

		た）、持ち上げた際に腰に想定以上の負荷が掛かり、激痛が走った。		
10	10～ 11	引越作業中、廃棄物の入ったごみ袋を両手で3袋（右2袋、左1袋）を持ち、階段を下りていたところ、右足で持っていたごみ袋の端を踏んでしまい階段を2～3段踏み外した。バランスを崩しながら着地したため、右足を捻ってしまい負傷したものである。	39	1～ 9
10	14～ 15	ごみステーションにおいて、家庭の可燃ごみを収集する作業中、可燃ごみが入った袋を車両に入れようとしたところ、袋内にコンクリート片（寸法約30cm×30cm×15cm、重量約4kg）が混入されていたためごみ袋が破れ、コンクリート片が落下して右足に当たり負傷した。	57	1～ 9
11	0～1	不燃物収集作業中に被災した。被災者は、マンション不燃物置場よりパッカー車へ不燃物を持って行こうと、上体を倒し左手に2袋（1kg）、右手に1袋（10～15kg）を持ち上げた際、腰に痛みが走り負傷した。その後、腰の痛みを我慢し腰をかばいながら作業を続け、終業後受診した。	26	50 ～ 99

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html